

平成25年3月期

第2四半期決算説明資料

平成24年11月13日



川重冷熱工業株式会社

# 平成25年3月期第2四半期決算概要

# 平成25年3月期第2四半期決算の総括

当第2四半期累計期間の受注高は、東日本大震災後のエネルギー事情の変化によるガス空調の見直しにより空調事業が好調に推移し、前年同期比1億円増の102億23百万円となりました。売上高は、前年同期比3億78百万円増の76億44百万円となりました。

利益面では、営業損益は、ボイラの改修改造工事の受注・売上が減少したこと等が影響し、前年同期比75百万円減の6百万円の営業損失、経常損益は、PCB処理費用見積額81百万円を環境対策費として計上した前年同期に比べ、14百万円好転したものの、14百万円の経常損失となりました。四半期純損益は、前年同期比14百万円好転の13百万円の純損失となりました。



# 平成25年3月期第2四半期損益計算書

金額単位：百万円(百万円未満切捨て)

	前第2四半期	当第2四半期	前年同期比	備 考
売 上 高	7,266	7,644	105.2%	主に空調機器の売上増加による
売上総利益	1,908	1,924	100.8%	
販売費及び一般管理費	1,840	1,930	104.9%	
営業損益	68	△ 6	-8.8%	
営業外収益	26	28	107.7%	
営業外費用	124	37	29.8%	前年同期に環境対策引当金の計上有り
経常損失	△ 29	△ 14	48.3%	
税引前四半期純損失	△ 29	△ 14	48.3%	
法人税等	△ 1	△ 1	100.0%	
四半期純損失	△ 28	△ 13	46.4%	



# 平成25年3月期第2四半期貸借対照表

## 資産の部

金額単位：百万円(百万円未満切捨て)

	前第4四半期	当第2四半期	備 考
流動資産	8,733	8,015	
現金及び預金	6	121	
受取手形・売掛金	6,439	5,777	期末日満期手形含む
棚卸資産	1,390	1,732	
繰延税金資産	315	320	
その他の流動資産	580	64	
固定資産	3,545	3,952	
有形固定資産	1,587	1,636	
無形固定資産	307	287	
繰延税金資産	912	918	
投資その他の資産	738	1,110	関係会社出資金の増加による
資産合計	12,278	11,968	



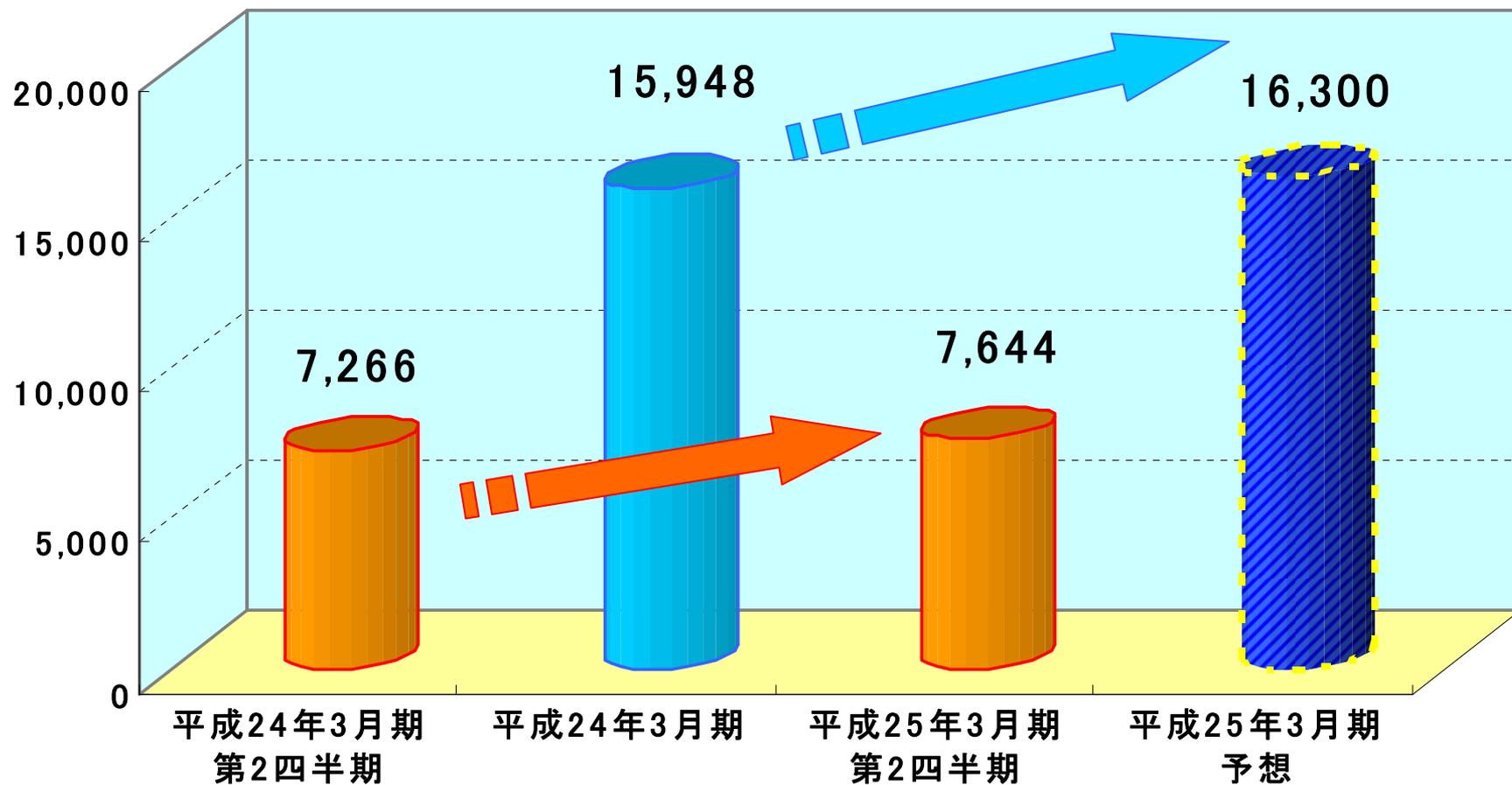
# 平成25年3月期第2四半期貸借対照表

## 負債・純資産の部

金額単位：百万円(百万円未満切捨て)

	前第4四半期	当第2四半期	備 考
流動負債	5,788	5,661	
支払手形・買掛金	4,352	3,984	期末日満期手形含む
未払法人税等	94	22	
その他の流動負債	1,340	1,654	
固定負債	2,538	2,431	
退職給付引当金	2,397	2,298	
その他の固定負債	141	133	
負債合計	8,326	8,092	
資本金	1,460	1,460	
資本剰余金	1,228	1,228	
利益剰余金	1,266	1,202	
自己株式	△ 17	△ 17	
株式等評価差額	12	1	
純資産合計	3,951	3,875	
負債・純資産合計	12,278	11,968	

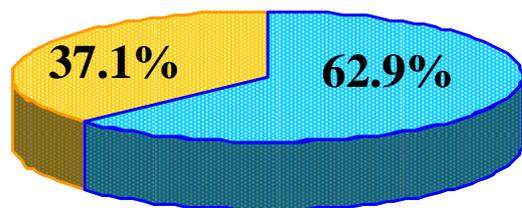
# 売上高の推移



# 売上高構成比の比較



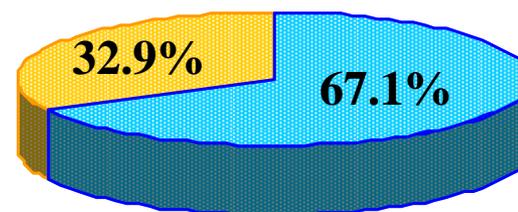
ボイラ事業



空調事業

平成24年3月期  
第2四半期決算

ボイラ事業



空調事業

平成25年3月期  
第2四半期決算

# 事業区分別分析



## 空調事業

- ①機器本体の売上高は、大型吸収冷温水機の増加により、前年同期を大幅に上回りました。
- ②改修改造工事・メンテナンスの売上高は、年間保守契約等が減少したため、前期を下回りました。

## ボイラ事業

- ①機器本体の売上高は、大型の水管ボイラ等が減少したものの排熱ボイラおよび貫流ボイラの増加により前年同期を上回りました。
- ②改修改造工事・メンテナンスの売上高は、省エネ改造等の大口工事が減少したため、前年同期を下回りました。

# 平成25年3月期 業績予想

# 平成25年3月期の業績予想



金額単位：百万円(百万円未満切捨て)

	平成24年3月	今期予想	前年同期比	備 考
売 上 高	15,948	16,300	102.2%	
空調事業	10,234	10,550	103.1%	
ボイラ事業	5,713	5,750	100.6%	
営業利益	316	400	126.6%	
経常利益	250	400	160.0%	
当期純利益	14	220	-	

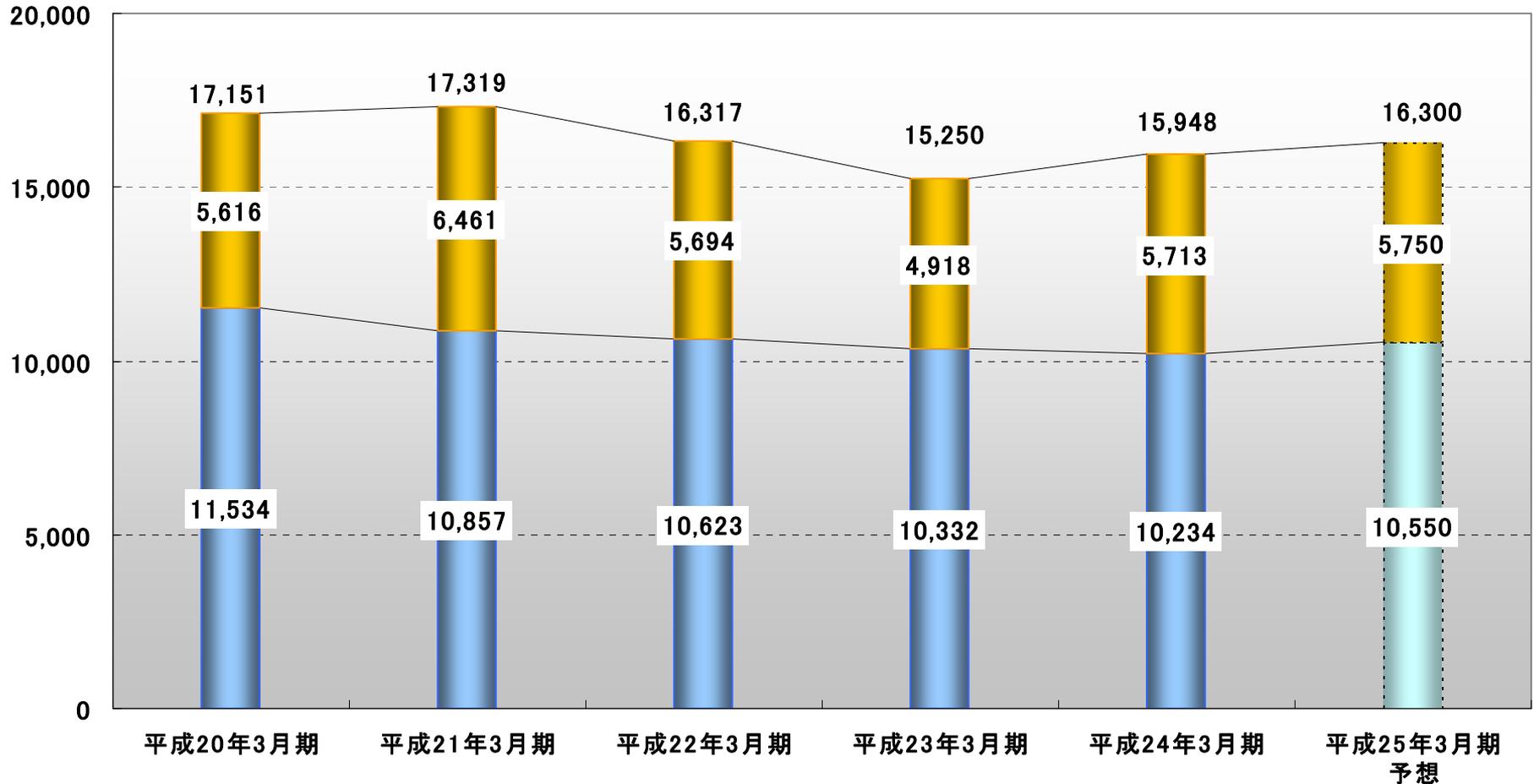
# 売上の推移(予想)



(単位:百万円)

■ 空調事業

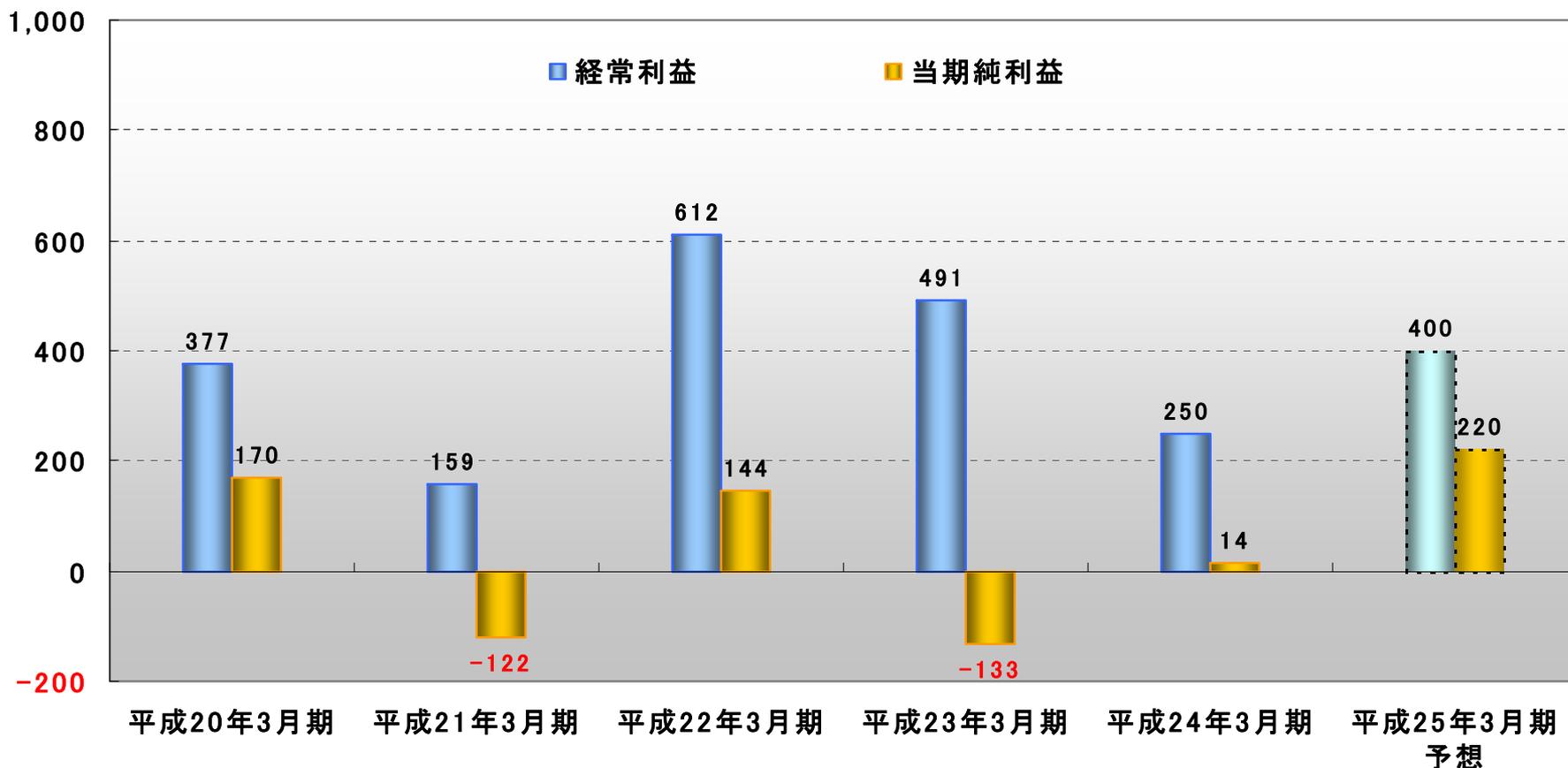
■ ボイラ事業



# 利益の推移(予想)



(単位:百万円)



# 事業区分別計画



## 空調事業

①世界初の製品化に成功した「三重効用高効率ガス吸収冷温水機」、ガス3社が設けた基準をクリアするグリーン機種に認定された「シグマエース1.43シリーズ」、東京ガスと共同で開発した「高効率排ガス投入型吸収冷温水機」、ガス3社と共同開発した太陽熱利用の「ソーラー吸収冷温水機」、年間の燃料消費量・CO2排出量を大幅に削減した「シグマエース1.2Rシリーズ」の提案等を行い、拡販に努めます。

②24時間遠隔監視のメンテナンスシステム「テレメンテ」の活用および当社独自の「イーコップセイバー」等の省エネルギー提案を積極的に行い、引き続き改修改造工事・メンテナンスの受注拡大に努めます。

## ボイラ事業

①大型貫流ボイラ「イフリート」を中心とした機器ラインナップに加え、「油焚き燃焼ターndダウン5:1制御システム」や、大型貫流ボイラで初めて開発に成功した「VOC燃焼システム」や「排ガスO2濃度制御システム」等の、お客様の省エネニーズに対応する製品を提供し、拡販に努めます。

②改修改造工事・メンテナンスは、定期検査、燃料転換や省エネ改造などの改修工事を中心とした工事の受注拡大ならびに年間保守契約の獲得向上に努めます。

# 参 考

# 当社の経営方針



当社は、「エクセレントカンパニーの構築」を目指し、顧客ニーズにあった商品を業界一級の技術で提供することにより適正利益を確保し、株主には適正な配当を行うとともに従業員および全事業従事者のために人間性豊かでゆとりのある業務遂行と暮らしを創造し続けながら、社会に貢献することを経営の基本方針としております。

当社の関連する空調業界では、今後は電力使用の制約から電力ピークカット効果の高いガス空調が見直されていくものと思われれます。

ボイラ業界では、貫流ボイラを中心とした市場構造には変化が無いと思われれます。

空調・ボイラ業界共に、環境性を考えて今後も省エネルギーおよび未利用エネルギーを有効利用する機器の開発が活発化していくものと思われれます。

本資料に関する問合せ



川重冷熱工業株式会社

企画室 経営管理部

TEL 06-6325-0300

**ご注意**

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で把握可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控え下さるようお願いいたします。